

# われらが校章にズームアップ

7月7日の創立記念日が近づきました。



そこで、校章のルーツを探る巻

校章は、昭和53年4月から独立校になるにあたり、公募されました。応募総数61点。その頂点に立ったのが今の校章です。作者の作意は、次のとおりです。『山・紫・水・明の地、長沼のイメージを、山と水で表現。真澄の水に映る山影を表した。純粋な若さと、ロマンを秘めた学舎に、永遠の発展と限りない可能性を願って、単純な力強い線で表現した。』



## 校章の生みの親 平野 修蔵 氏

- 昭和11年3月生まれの59歳
- 職業 グラフィックデザイナー { 広報・須賀川のレイアウト、企業のロゴ・マークデザイン、レタリング、イラストなど }
- 昭和28年度 須賀川高校卒業 ( 高校時代は卓球部長 )
- 須賀川市 和田 に、奥様とお住まい

長高だより

号外  
1995  
6.22

発行所  
福島県立長沼高等学校  
〒962-02  
長沼町本郷58  
Tel. 67-2185

この話は、平成7年6月3日のインタビューを、まとめたものです。

① 私はね、20年間サラリーマンをした後フリーになったんです。3年もたないぞと言われてば、20年たらずだよ。ホッパッパ。

素直なご職業ですね。

② 長高の校章をデザインしたのは、昭和53年の1月頃。42才の時です。選ばれて、私にも良い励みになりました。

ステキな取り組みがとうまう。

③ 応募されたきっかけは、何だったのですか？

⑦

④ 知人が作品を持ってきたんです。長高で校章と募集してるんだよ。これ、出してみようと思っただ。清書してもらえないかなあ。

ちなみにこの作品は佳作でした。

⑤ あなたも描いて出してみたら？

⑥ 奥様の一言がなければ、今の校章は、ないですね。

⑧ デザインは直感！ほんの数秒のひらめきだよ。山と、美しい。

⑧ 昔、長沼ですくって飲んだ川の水のうまかったこと！自然の美しさは言葉にできない程だったよ。まさに秘境という感じだね。

⑨ それと、私の祖父は、教師で日本画家でして。マキフウ古川法信(雅号 狹風)というんですが、須賀川一の校章の制作者ですね。桜に水の流るをあらわした「桜水」のデザインなんです。

⑩ 須賀川校章。長沼校章。長沼のイメージと祖父の「桜水」が重なってできたんですよ。すんなりとか。

昭和53年4月、長高独立と共に、校章が制定されました。

⑪ 現在の長高生にメッセージをお願いします。

⑫ 遠くを見ず、足もとの良さをみつめてほしいです。環境、空気、良さは、一番貴重なことです。ますます、故郷の自然を大切にしてください。

⑬ 福島国体のシンボルマークの選考で、平野さんの作品は最終5つに残ったそうです。しかし、最後の1つにならなかった。何の意味もないんです。でも、人生は挑戦のくり返し。果敢に挑戦することは、楽しいことです。

⑭ 帰り際、縁側に丸くなる数匹の猫を見ました。のら猫にエサをやったら、住みついてしまったのだそうです。ふんわりかかえま。

校章は長高のシンボルマーク。長高生として、胸を張って、きちんとつけましょう。